

2015年7月創刊、日吉・綱島・高田周辺エリアの「地域インターネット新聞」ダイジェスト版です

ネットで注目の話題

<https://hiyosi.net>

鉄道新線や道路建設、日吉・綱島・高田周辺で街に変化



左上是、新綱島駅の地上部に建設される再開発ビル(新綱島駅前地区市街地再開発組合の紹介映像より)、プラウドシティ日吉(右上)、宮内新横浜線(右下)

港北区内では、新たな鉄道「東急新横浜線(相鉄・東急直通線)」と新駅「新綱島駅(仮称)」の2023年3月までの開業や、2017年春には首都高速道路「横浜北線(きたせん)」が開通したことにともない、日吉・綱島・高田の周辺エリアで、関連の再開発や道路整備などが相次いでいます。

地域のニュース

● 自治会・町内会がネットで情報発信を活性化

今年4月に高田町連合町内会が社会福祉協議会と共同で公式ホームページを復活し、日吉本町西町会ではこのほど新設。これにより、日吉・綱島・高田エリアの主要な自治会・町内会がホームページを持つことに。樽町や大曾根、師岡町もインターネット活用に積極的で、情報発信の拡充が進んでいます。

● 綱島駅テナントビルにスーパーなど誘致へ

来春の完成に向けて工事が進む綱島駅のテナントビルでは、スーパーやカフェを誘致する計画です。旧「駅ビル」部分に加え、西口に「駅舎風」の建物も設ける予定で、駅構内には完成予想図(写真)も掲出されました。



● 綱島街道へ五輪「聖火リレー」誘致する動き

8月末まで公募が行われている東京2020オリンピックの「聖火リレー」は、来年7月1日に中原区の等々力競技場や区内の日産スタジアムで行われることが決定。日吉の関係者からは綱島街道を通るよう誘致する動きもあり、今冬の聖火リレー最終ルートへの選定に注目が集まります。

日吉では箕輪町2丁目の旧アピタ日吉店などの跡地で、1320戸のマンションを中心とした「プラウドシティ日吉」が建設されており、2023年ごろまでに3000人以上の人口増となる見通し。来年4月には一連の敷地内に横浜市が「箕輪小学校」を開校する予定です。

駅前でも、市がまちづくりの課題を探る「日吉まちづくりカフェ」を5月に初めて開催。東横線と目黒線に加え、今後は新横浜線が乗り入れ、地下鉄グリーンラインの始発でもある重要駅で、駅前整備が十分ではない現状を把握する動きが見られます。

一方、新駅開業を控えた綱島は、東口で再開発の議論が進行。新綱島駅(仮称)の地上部だけでなく、駅前東口でも、将来的には新綱島駅側の27階建て再開発ビルと同様に“高層タワー化”する構想も。

市は今年4月に「綱島開発事務所」を新設し、再開発によって狭い安全性に欠ける東口の問題解決を図っていきたい考え。同時に駅前から北綱島交差点までは綱島街道の拡幅も進めます。

高田駅前では、早渕川を越えた新吉田エリアを経て、新横浜駅前まで直結する都市計画道路「宮内新横浜線」の建設が進行中。

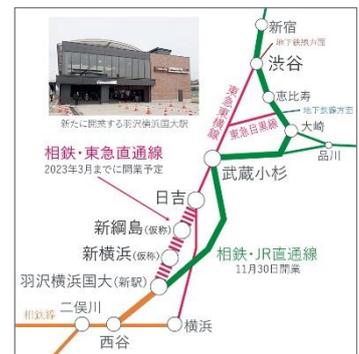
完成後は横浜北線「新横浜出入口」へアクセスが容易になることに加え、綱島街道をはじめとした周辺幹線道路の混雑緩和も期待されています。

JR武蔵小杉と相鉄は11月末直結

「相鉄・JR直通線」(相鉄線～西谷～羽沢横浜国大～JR武蔵小杉～新宿方面)の開業日が11月30日に決定しました。

この路線は新設される羽沢横浜国大駅から港北区の地下を貫く「東海道貨物線」を通過。鶴見駅手前で横須賀線と合流してJR武蔵小杉駅へ至り、新宿方面と相鉄線が相互に直通運転。

朝ラッシュ時は1時間あたり4本、日中は1時間に2～3本程度の運転が計画されています。



【発行者より】インターネットの掲載記事をまとめた紙のダイジェスト版を10カ月ぶりに発行しました。ネット上では日々情報を発信していますので、ぜひスマートフォンやパソコンでもご覧ください。

【発行元】一般社団法人 地域インターネット新聞社
横浜市西区北幸1-11-1 水信ビル7階

【裏面もご覧ください】

創業半世紀で32歳社長が就任、ゴルフ練習場・レストラン運営

創業から半世紀を超えた日吉5丁目のゴルフ練習場・レストラン「パームスプリングス(Palm Springs)」の運営企業である株式会社グリーンクロスでは、6月1日から30代社長が創業者の後を継ぎ、50年かけて築いてきた事業の発展へ向けて一步を踏み出しています。

● 日吉で15代以上続く旧家が創業

矢上川にかかる一本橋の近くで長年営まれてきたゴルフ練習場「グリーンクロス」や、ホームセンター「ハッピージャック」の運営でも知られる同社。

日吉で15代以上続く旧家の「相原家」が農地を使って1967(昭和42)年に開設したゴルフ練習場を皮切りに、地元企業としても半世紀以上の歴史を刻んできました。

社長を継ぐことになった現在32歳の相原裕太さんから見て、創業者である相原章さん(現代表取締役会長)は、母方の祖父にあたります。



2017年秋に全面リニューアルしたレストラン「パームスプリングス」

祖父と祖母が育ててきた企業を継ぐことは、生まれながらにして決まっていたという相原さん。そうした事情を知ってか知らずか、矢上小学校時代には実家でもある練習場へ頻繁に出入りし、ここでゴルフに親しんだことが、のちのスポーツ好きにつながります。

中高生になると野球一筋で主将もつとめ、ケガで野球をあきらめた大学在学中は、樽町にあるスポーツクラブでのアルバイトに熱中し、そのまま就職。計8年にわたって社会人の基礎とスポーツ事業の楽しさを学んだ後は、父と兄が経営する製造業で修業し、衛生管理などの面で現在の経営に生かしています。

● ファミリーが集まれる場にしたい

相原さんが29歳でグリーンクロスの事業に携わってからは、建物が老朽化したホームセンター「ハッピージャック」の閉店を決断するとともに、「ゴルフ練習時以外も家族全員が集まれる場にしたい」と跡地にドラッグストアと認可保育所を誘致。

ゴルフ練習場の併設レストランはファミリー向けに全面刷新を決め、店名を「パームスプリングス」に統一しました。



6月から社長に就任した相原裕太さん

● 新たな形のゴルフ練習場を模索中

祖業であるゴルフ練習場は、幅広い層がゴルフを楽しめるように、ゴルフ練習機能だけでなく、米国でも始まっているエンタテインメント的な要素も取り入れたゴルフ施設へと変わろうと模索している最中。キッズゴルフスクールも誘致し、運営が始まりました。

長年事業を営んできた地域への感謝と、どんな形でもいいのでゴルフに触れてほしいとの思いから、2018年春から練習場の芝生開放などのイベントを定期開催し、今夏も行う予定です。



現在は新たなゴルフ練習場の姿を模索し、刷新に取り組んでいる最中だという

数年間で矢継ぎ早に変革してきた相原さんですが、経営面で重要視してきたのが社員の雇用だといいます。

「今は亡き父親から教えられたのは、経営者は雇用を守ることが一番大事ということでした。父が経営していた企業とは規模こそ違いますが、当社でも考え方はまったく同じで、人数が多くないだけに家族と同じ感覚です。これから先も目標を達成する喜びを一緒に味わってきたい」。

日吉の街で育まれた事業を“家族のようなチーム”の結束力で、さらに発展させていく考えです。

● ファミリーレストラン・ゴルフフレンズ

パームスプリングス(PALM SPRINGS)

日吉5丁目15-33(東急バス「一本橋」停留所前) ☎ 045-562-2894



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi_net)は6,800人のフォロワー、フェイスブックは「いいね！」が2,100を超えました

